

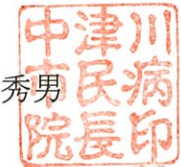
中病第 31 号

平成 29 年 5 月 31 日

中津川市長 青山 節児 殿

中津川市民病院

病院長 安藤 秀男



業務状況説明書類の提出について

中津川市病院事業の設置等に関する条例第 7 条の規定による業務の状況を説明する書類の作成のため、別紙のとおり報告します。

記

1. 平成 28 年度下半期業務及び経理の状況（中津川市民病院）
2. 平成 29 年度予算の概況及び経営方針（中津川市民病院）

平成 28 年度下半期の状況（中津川市民病院）

平成 28 年度下半期の状況は、延べ入院患者数で 44,068 人（1 日あたり 242.1 人）、病床利用率は 67.3%でした。これを前年度下半期と比較すると、5.3 ポイントの増となりました。延べ外来患者数は、94,190 人（1 日あたり 784.9 人）でした。これを前年度下半期と比較すると、1 日あたりでは、20.1 人の減となりました。

医業収支の状況は、医業収益が 3,369,455 千円（前年度比 105.8%）、医業費用 3,657,357 千円（前年度比 106.0%）で、医業損失 287,902 千円発生しました。経常収支の状況は、医業外収益が 46,045 千円（前年度比 85.3%）、医業外費用は 264,975 千円（前年度比 100.7%）となりました。この結果下半期の経常損失が、506,832 千円発生しました。

なお、上半期の経常収支において、672,374 千円の経常利益が生じていましたので、通算で 165,542 千円の経常利益となり、平成 28 年度においては、165,542 千円の純利益が見込まれます。

平成28年度下半期の概況（中津川市民病院）

1患者利用状況

単位：人

区 分	下半期	月平均延数	一日平均数
入 院	44,068	7,344.7	242.1
外 来	94,190	15,698.3	784.9
合 計	138,258	23,043.0	1,027.0

2診療収入状況

単位：千円

単位：円

区 分	下半期収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	2,147,022	357,837.0	48,720.7
外 来	990,509	165,084.8	10,516.1
合 計	3,137,531	522,921.8	*****

3経理の状況

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	3,415,500	病院事業費用	3,922,332
医業収益	3,369,455	医業費用	3,657,357
医業外収益	46,045	医業外費用	264,975

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的収入	560,673	資本的支出	516,089
出資金	381,952	建設改良費	199,599
企業債	170,200	企業債償還金	301,130
補助金	4,321	修学資金等貸付金	15,360
貸付金返済金	4,200		

平成29年度中津川市病院事業経営方針（中津川市民病院）

1. 地域医療における役割強化に努めます。

【重要項目】

①診療部の強化

- ・中長期観点からの医師確保

【重要項目】

②看護部の強化

- ・中長期観点からの看護職・補助者等の適正人数検討及び確保

【重要項目】

③医療技術部の強化

- ・中長期観点からの医療技術職・薬剤師の適正人数検討及び確保

【重要項目】

④事務部門の強化

- ・中長期観点からの事務職・補助者の適正人数検討及び確保

【重要項目】

⑤地域内の病院間役割分担の推進

- ・市長方針に基づき、当地における医療機能分担の推進
- ・新公立病院改革プランに基づく、地域包括ケアシステムの準備と検討
- ・訪問看護ステーション運営のための調査、検討

⑥地域医療連携強化

- ・近隣医療機関へのニーズ調査
- ・紹介患者数5%増加、逆紹介患者数5%増加

- ・在宅療養後方支援病院、生活支援入院の安定的運営
- ・地域の役割を意識した施設の整備

2. 患者様の権利や満足度向上を進めます。

⑦接遇改善

- ・患者様との信頼関係を築き、患者様の満足度の向上
- ・病棟、外来、救急外来など問題とされやすい部署別に改善計画の立案と実行

⑧施設環境の改善

- ・安全を意識した医療環境の改善
- ・売店、レストラン等の患者アメニティの改善

⑨情報の開示・発信

- ・職員確保に繋がる情報の発信
- ・市民への十分な周知（地域医療、臨床情報、経営状況、患者様満足度、職員満足度等）
- ・職員への情報発信（臨床情報・社会状況等、職員が知るべき情報の発信）

3. 知識や技術向上のための教育強化に努めます。

⑩高額医療機器・医療機器の購入についての長期計画策定と補助金等の検討

- ・高額医療機器購入内容、購入順の検討
- ・高額医療機器導入の効果を検証
- ・医療機器の中長期的導入計画を含む施設環境を改善し、安全性の向上につなげる
- ・国・県等の補助金事業及び外部資金の導入の検討と申請

⑪職員のスキル向上

- ・人事評価の確実な実施と評価項目および、インセンティブの検討

4. 協働意識の醸成やコミュニケーションを図ります。

【最重要項目】

⑫医療安全の強化

- ・職員教育の徹底と職員（特に医師）の個別研修の導入
- ・新体制の確立
- ・医療事故の対策・対応
- ・医療事故を無くす、医療アクシデントを減らす
- ・防止、対策の検討及び実施した対策の評価

⑬感染対策の徹底

- ・職員教育の徹底
- ・安全な医療を第一に、経済性も考慮した感染対策の徹底
- ・耐性菌対策、新興感染症、輸入感染症を含む感染対策の整備

⑭職員満足度の向上

- ・職場満足度調査の結果をもとに具体的な方針の提示
- ・離職防止につながる具体的提言と実施
- ・安全性と働きやすさを考慮した施設環境の改善

5. 健全経営を確立します。

⑮診療報酬業務の適正化と新医療制度、診療報酬制度への対応

- ・診療単価の5%増加
- ・外来・入院診療の効率化（最大収益と最少減点）
- ・最新の医療情勢の情報分析、対策の立案、実施

【最重要項目】

⑩病床の効率的運用

- ・坂下病院との連携を考慮した病棟の再編成・新病棟の開設
- ・地域包括ケア病棟 40 床での安定運用（利用率 90%）
- ・急性期 5 病棟 病床稼働率 90% 7 対 1 入院基本料の維持
- ・平成 30 年度診療報酬改定に対応できる病棟運営

【最重要項目】

⑪外来の効率的運用

- ・市長方針を意識した外来の整備
- ・外来収益差の 5%増加

⑫健康管理センターの収益増加

- ・健康管理センターの収益 5%増加

⑬外来化学療法の集約

- ・医療の安全と収益性を意識した外来化学療法の集約を行う
- ・認定看護師等による積極的な運用体制を確立

⑭費用の適正化

- ・前年度比 5%経費の削減
- ・外部契約業者（ソラスト、シダックス等、各種コンサル含む）との契約の適正化

平成29年度予算及び業務量（中津川市民病院）

1患者利用予定

単位：人

区 分	年度間	月平均延数	一日平均数
入 院	90,520	7,543.3	248.0
外 来	200,080	16,673.3	820.0
合 計	290,600	24,216.7	1,068.0

2診療収入予定

単位：千円

単位：円

区 分	年度間収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	4,588,459	382,371.6	50,690
外 来	2,162,865	180,238.8	10,810
合 計	6,751,324	562,610.4	*****

3経理の予定

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	7,729,840	病院事業費用	7,729,840
医業収益	7,198,113	医業費用	7,548,142
医業外収益	531,727	医業外費用	154,578
		予備費	1,000
		特別損失	26,120

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的収入	610,466	資本的支出	906,670
出資金	373,466	建設改良費	255,853
企業債	228,100	企業債償還金	612,697
貸付金返済金	8,900	修学資金等貸付金	38,120